

監査結果報告様式 2

監査結果(指摘事項・意見)に基づく措置状況等の報告

1. 監査対象部局課名 建設部 上下水道課
2. 監査の種類 決算審査
3. 監査実施日 平成26年 6月25日
4. 監査結果報告通知日 平成26年 8月22日
5. 措置状況等の報告日 平成26年11月21日

指摘事項・意見	措置内容・対応状況
<p><b>【意見】</b> (水道会計)</p> <p>水道事業の経営は、給水人口の減少や節水等による収益の減少に対し、経費等の節約により対処すべきであると考えられる。特に、有収率の向上に対しては具体的な改善目標計画を示し、効果的な漏水対策を推進されたい。</p> <p>(下水道会計)</p> <p>平成25年度の南砺市下水道事業の経営状況については、経営成績が依然として赤字決算が続き、累積欠損金の増加がより明白となっている。</p> <p>引き続き下水道使用料及び受益者負担金等の未収金整理回収の強化を図るとともに、低迷している有収率の向上に対しては具体的な改善目標計画を示して、効果的な不明水対策を推進されたい。</p>	<p><b>【継続努力】</b> (水道会計)</p> <p>・収益が減少する中、鉛給水管や老朽管更新工事により上水道の有収率は H24 年度 78.24%、H25 年度 80.55%と徐々には改善されているもののまだ低い状況であります。経費等を圧縮している中、近年の漏水調査委託としては、H25 年度、H26 年度に 9,600 千円としてきましたが、今後は 1.5 倍の予算計上をし、有収率の低い地域（特に福野・福光）を重点的に調査して改善に努めてまいります。</p> <p><b>【継続努力】</b> (下水道会計)</p> <p>・未収金整理回収の強化については、今年度に入り下水道使用料で約 7,000 千円、受益者負担金等で約 4,000 千円の納付を得ております。これからも機会を捉えて納付の勧奨を行います。また、有収率の向上に対しては、年々老朽化する管渠施設を維持するためにも、エリアを決めて管路内調査や補修といった不明水対策に取り組んできており、今後は水道事業同様に約 1.5 倍の予算計上をして、継続的に実施し有収率の向上に努めます。</p>